

# 上智、平成測量に優秀賞

新潟

## 日測協北陸支部が業務報告会

日本測量協会北陸支部（大西宏治支部長）は10日、新潟市中央区の新潟ユニゾンプラザで2023年度業務報告会・空間情報技術事例発表会を開いた。

開会あいさつで大西支部長が「これまでの1年間とこれからの1年間にどのような事が行われるのかを確認する重要な機

会。皆様から積極的な参加をお願いしたい」と述べた。本部から藤田直之理事・事務局長があいさつした後、北陸支部の小高充信事務局長が22年度業務報告と23年度事業計画などを説明した。

引き続き、公共測量成果の品質管理が優れた測量会社を表彰する、日本測量協会（清水英範会長）

の「公共測量品質管理優秀賞」北陸地区表彰式が挙行。ともに基準点測量部門で初受賞となった上智（富山県砺波市）の伊藤富男設計計測部取締役

本元康代表取締役と高倉裕太執行役員第3グループ長に、藤田理事・事務局長から表彰盾と副賞が授与された。

部長と五十嵐司設計計測部空間情報課長、平成測量（新潟県上越市）の鈴木

この表彰は05年4月、公共工事の品確法施行を機に創設され、今年で19回目。今回は22年度に実

施した公共測量成果の検定（基準点測量、地図作成）のうち、品質が特に優れていたと認められる測量作業機関として、全国36社が優秀賞に選ばれた。なお、関東地域からはナカノアイシステム（新潟市）が地図作成部門で受賞している。

その後、空間情報技術事例発表会（4題）が行われたほか、国土地理院北陸地方測量部測量課長の横川正憲氏が「公共測量における測量技術への取組」を演題に講演した。事例発表者（敬称略）、

題名は次のとおり。  
▽西潟ころろ（ナカノアイシステム） 3D都市モデル（LOD3）の作成と活用

▽田邊勝久（SIC桑原） 不当沈下による建屋のひずみ計測について

▽佐藤広基（オリス） 「史跡佐渡金山銀山世界遺産登録を目指して」異なるレーザーデータを用いたハイブリッド型三次元地形解析

▽荻野祥向（金井度量衡） 国土地理院DEMを用いた地形追従UAV写真測量事例



受賞者と関係者による記念撮影＝10日、新潟ユニゾンプラザ